

中土佐町社協だより

ふくしの

チカラ

夏号



2023年7月



矢井賀地域アクションプラン 炊き出し訓練の様子 関連ページ…P2

Contents

小矢井賀地域アクションプラン「防災・炊き出し訓練」	P2
「つどい処防災新聞」～ともに学ぶ、災害時への備え～	P3
デイサービスセンターのじぎく ～事業所内での活動の様子～	P4
生活にお困りの方の相談窓口（自立相談支援事業）	P5
令和4年度 中土佐町社協の事業・決算報告	P6
地域の皆さま“ありがとう” / ご寄付のお礼	P7

《小地域ケア会議》から主体的な地域活動の実践



小矢井賀地区住民のやってみよう

小矢井賀地区では6月4日の地区の清掃の後、羽釜を使った炊き出しや防災用のテントの張り方を確認する訓練を行いました。

4月の《小地域ケア会議》で、地域の防災活動について話し合い、コロナ禍以降、地域での集まりが減り、皆で飲食を共にすることもすっかりなくなった地域で「久々に遊山でもして集まってみるかよ」と意図的に集まる場を設ける提案がされました。炊き出しのカレー作りは、女性陣を中心に役割分担が決まり、地区長から地域に声をかけ、当日の準備は主に男性陣が買っていました。防災についても日ごろから熱心に取り組むこの地域では、できるだけ多くの住民が集まりやすい日時を選び地域のつながりを大事にしています。



地域コミュニティの大切さ



町内で実施する《小地域ケア会議》

《小地域ケア会議》とは、常会ごとや複数の常会ごとの住民と行政、社協職員が集まり、地域の困りごとの解決に向けて話し合う場です。手法の一つに地図を用いて地域の現状を可視化できるようにしています。空き家や更地が増え、住民同士での見守りやつながりが弱まってきているなど浮かび上がってくる問題もあります。現在、久礼地域23地区、矢井賀・上ノ加江地域7地区、大野見地域5地区の計35地区で《小地域ケア会議》を実施しています。参加者は、地区によって違いますが、小矢井賀地区では地区長、民生委員、お世話焼きさんらが

出席し、防災を意識した地域での見守りや、つながりづくりについて話し合いがされています。



「自分の地区でもやってみよう」

人口減少や高齢化による担い手不足、地域行事の衰退によるつながりの希薄化などの影響を受け、身近な暮らしの中での困りごとが増えています。困りごとの解決には時間がかかります。困りますが、今回の小矢井賀地区のように《小地域ケア会議》を活用して住民同士で話し合うことは、地区のくらしを良くする第1歩ではないでしょうか。

社協では、町内のあちこちで「自分の地区でもやってみよう」の主体的な取組が増えるようサポートをしています。



ともに学ぶ、災害時への備え

近い将来、南海トラフ巨大地震が確実に起きるとされる中、災害時に障害のある方は自力避難が難しく取り残されてしまい、死亡率が健常者の約2倍になると言われています。

つどい処では、「自分の命は自分で守る、大災害時に備えよう」と定期的な避難訓練や防災の学びを行っています。今年は、1年を通して防災をテーマに地域の皆様につどい処に活動記事を掲載していきます。

～これまでの歩み～



防災を知る・つどい処避難の練習をする

2013年から、つどい処が始まって以降避難訓練や防災学習をしています。



「安全と迅速」を意識して避難訓練しています



避難後の生活のイメージづくりの避難所体験

学びや訓練からわかったこと



訓練や学びをした後、振り返りを行う中で、「パニックになり一人で行動できなくなるかもしれない不安」や「目が見えづらく手引きを必要とする」など、それぞれが、自分にとっての困ることがあると気づきました。



よし、伝えてみよう!

地域の人に向けて気づきを発信!

2018年、地域での合同避難訓練で、「※ヘルプマーク」を使って、自分自身の障害についてや、避難時の困る内容、知っておいてほしいことを伝え、いざという時には助けてほしい事を知ってもらいました。



※ヘルプマークとは、

外見ではわからないが配慮が必要な方が、まわりの人に配慮を必要としていることを知らせ、助けを得やすくするための目印です。

知ってもらえると安心できる。

学びを深める



災害時の備えとして、「まわりにヘルプを伝えていく力をつける」や「地域に理解してくれる人を増やしていくこと」が大切で、障害あるなしにお互いが助けあっていけるよう動いていこうと考えました。

少しずつ進もう。

今後のとりくみ

学び

東北大震災で障害のある方が経験したことを知り、南海トラフ巨大地震が発生した時に起こりうる困難な状況などに、どうしていけばよいか自分に置き換えて考え、具体的に取り組めるよう学んでいきます。

発表

私たちのこれまでの学びを地域の方に発信していきます。
中土佐町防災フェスタ、ふくしのチカラ(秋・冬号)、心がつながるアート展 他

防災活動 参加者募集!!

つどい処では、災害を身近なことで考え、誰もが助け合っているために、地域の方と一緒に防災活動に、取り組んでいきたいと思っています。私たちと中土佐町の防災活動を一緒に考えてくれる方をお待ちしています。

お問合せ先

地域活動支援センターつどい処

私たちの防災活動は、
まだ続きます。

0889-52-2880

デイサービスセンター のじぎく

中土佐町福祉まちづくり施設「デイサービスセンターのじぎく」もご利用者様をはじめ、関係者様のご協力により、開業1周年を迎えることができました。

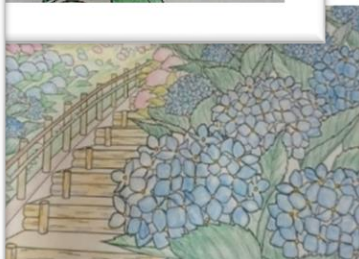
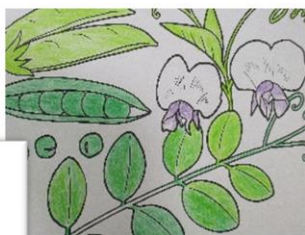
のじぎくでは、今年度は脳内活性化活動・認知症予防に力を入れて取り組んでいます。その活動として、塗り絵や脳トレプリント、パズルなど手先を使った作業活動をおこなっており、一人ひとりに合った活動をそれぞれ選んでいただき、提供しております。

ご利用者様が積極的に取り組まれている活動の一つ、“塗り絵”を紹介したいと思います。

「塗り絵って、ただ塗るだけじゃないが？」と思われたかもしれません。

色を塗る動作はもちろん、どこから塗るか、どうやって塗るか、何色を使うかなど計画性を持たせながら集中して行う事で、普段使わない脳の部位を活発にすることができます。

ご利用者様の作品



活動の様子

塗り絵の効果・・・



脳波を使った実験でも、塗り絵をしている時の脳内は活発な状態となり、普段より血流がよくなっていることが証明されています。

こうした脳の活性化により、脳を若返らせる作用がありアンチエイジングも期待されています。老化防止や認知症予防・改善、意欲向上などの効果があると言われています。



デイサービスセンターのじぎくでは、通常のサービス（送迎、入浴介助、食事提供、運動）に加え、ご利用者様の自立支援に向けた取り組みを応援しています。

施設の見学・体験利用を行っておりますので興味のある方は、担当されているケアマネージャーにご相談ください。

【デイサービスセンターのじぎく】
TEL：52-3496 担当：横矢



生活にお困りの方の相談窓口

生活の不安をどこに
相談していいのかわからない

家族が引きこもりがち

コロナ感染拡大の時に
借りたお金が返せない

お金のやりくりが
うまくできない

近くに
頼れる人がいない

なかなか仕事
が見つからない
仕事に就く自信がない



私たちがお手伝いします

その他、生活上の様々な困りごとと一緒に考え、解決に向けたお手伝いをします。

自立相談支援事業 ～ご相談の流れ～

Step1 あなたの不安や悩みを一緒に確認し整理しましょう
悩みごと・心配ごとをお聞かせください。

Step2 一緒に解決方法を考えましょう
あなたの不安や悩みを解決する計画を一緒に立てます。
また、必要に応じて手続きのお手伝いもします。

Step3 目標に向けて一緒に取り組みましょう
計画に基づいて、経過を確認・調整しながら
生活の改善に取り組むお手伝いをします。

相談内容の秘密は守られます。

1人で悩まず、お気軽にご相談ください！

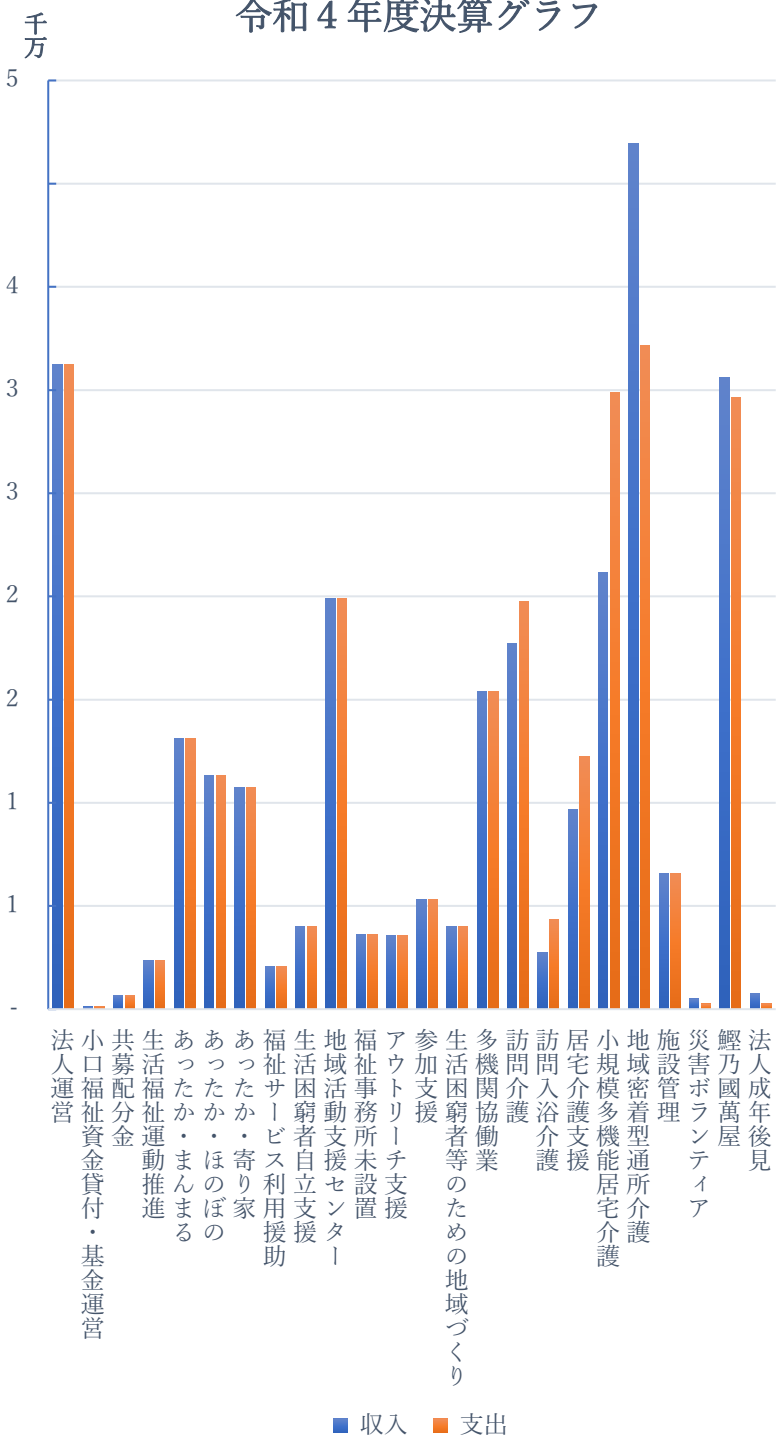


私たちと一緒に
働きませんか？

詳しくは
ハローワークへ!!

令和 4 年度 中土佐町社協の事業・決算報告

令和 4 年度決算グラフ



《 事業報告 》

令和 4 年 4 月に介護保険事業課が笹場地区「福祉まちづくり施設」、9 月に障害福祉課が、「久礼老人憩いの家」に移転しました。

介護保険事業課の新規事業「地域密着型通所介護」は、以前の通所介護からの引き続きの利用があり、利用者数は概ね安定していましたが、「小規模多機能型居宅介護」は、新しい事業で馴染みの薄いこともあり利用者数は低迷しています。

地域福祉課では、コロナ禍ではあったものの、各地域において工夫しながら、イベントや小地域ケア会議等を開催しました。また「重層的支援体制整備事業」に関連する受託事業も包括化推進員を中心に複合多問題ケースの解決に向け官民一体で取り組んでいます。

《 決算報告 》

中土佐町社協の財政は、令和 3 年度と比較して 720 万円程度落ち込みました（265,469,466 円➡258,242,792 円）。財源構成の比率は、公費 46.8%（前年度 44.2%）、自己資金 52.9%（前年度 55.1%）、会費等民間資金及びその他の資金 0.3%（前年度 0.7%）で、公費率以外が若干下がりました。

法人全体として▲8,421,257 円の費用が出ており、前年度対比でみれば▲11,350,069 円の増減差額が生じています。

介護保険事業のサービスは▲6,428,403 円で新規事業の地域密着型通所介護事業以外は、これまで同様赤字を解消することができませんでした。

令和 4 年度の法人全体の事業活動収支（損益）状況

	収 入	支 出	差 額
令和 4 年度	259,711,402	268,132,659	▲8,421,257
令和 3 年度	265,727,503	262,798,691	2,928,812
差 額	▲6,016,101	5,333,968	▲11,350,069

心がほっこりひまわり花壇



町民交流会館の花壇で、ぐんぐん育つひまわり。梅雨入りが早く雨量も多い今年は、植物にとって恵みの雨となっています。

地域のどなたかが植えてくださいました。そのおかげで何週間後には子どもたちが集まる公園の傍らで大輪の花を咲かせ、地域を歩きかう人を楽しませてくれることでしょう。

福祉に携わる私達職員も花を育てられる心の余裕を持ちたいものです。地域の皆さまありがとうございます。

共同募金助成金事業の流れ

令和4年度に町内で集められた募金のうち約7割が令和5年度の活動費として中土佐町に助成され、各団体の事業に役立てられます。

- ・11月1日～12月28日次年度募集
 - ▶申請を行う(申請書・事業計画書等の提出)
- ・3月審査委員会にて助成金の配分額決定
- ・7月助成決定通知及び助成金交付
 - ▶通知が届いた団体から事業実施
- ・事業終了後、事業報告提出
 - ▶報告書様式に記入、領収書等を添付

【締切日】 9月29日(金)

【問合せ先】 中土佐町共同募金委員会
(中土佐町社会福祉協議会内) ☎52・2058 担当・中平

【応募方法】 申請書提出

中土佐町共同募金委員会では、町内で地域福祉の推進を図る活動やボランティア活動を行う団体へ助成を行っています。

今年度の助成を希望する団体を追加で募集します。希望する団体は、中土佐町共同募金委員会までお気軽にお問合せください。

令和5年度 共同募金助成団体
追加募集!

たくさんのご寄付をいただきました

(順不同・敬称略)

*お名前を頂戴したとおりで掲載させていただいております

*プルタブ

森本 昭子	土居 サヨ子	大隅 孝子
池田 俊子	浜田 静枝	吉門 きぬよ
田上佐代子	新人民生委員	
土居工業	中山ガス店	
匿名希望…数名		

*切手

浜田 静枝	中沢 建夫
下元 和恵	
土居工業	

*その他

坂本 一夫
中沢 建夫

皆さま、温かいお気持ちをありがとうございました♡大切にさせていただきます



編集・発行 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会
 〒789-1301 高岡郡中土佐町久礼 6584-1 TEL:0889-52-2058 FAX:0889-59-0554
 HP <http://www.nakatosa-shakyo.or.jp>

※この広報は赤い羽根共同募金の配分金で発行しています

